

2006-2007
国際ロータリー第2510地区

ガバナー月信

No.13
2007

07



**GOVERNOR'S
MONTHLY
LETTER**
2006-2007
ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2510



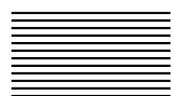
2006-2007年度 ガバナー 丸山 淳士 JYUNJI MARUYAMA

〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル3F
TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512 E-mail : rid2510@nifty.com

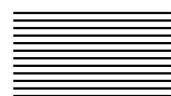
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510



2006 - 07年度 国際ロータリーのテーマ



率先しよう



CONTENTS

ガバナーメッセージ	1
ガバナー補佐ご挨拶	2
地区委員会委員長ご挨拶	5
第98回国際ロータリー年次大会（6月17日～20日）	11
ビバ（万歳）！ 世界大会！ 2006～2007年度 RI ソルトレークシティ大会参加報告	12
第4グループIM報告	13
全日本ロータリークラブ親睦合唱祭開催される／ 新旧ガバナー補佐・新旧委員長引継ぎ会議	14
受入留学生送別会&派遣候補生壮行会報告	15
国際友好委員会ニュース	16
新入会員のご紹介	17
ロータリー財団寄付／米山記念奨学会寄付	18
5月出席報告	19
6月出席報告	20



国際ロータリー第2510地区ガバナー

丸山 淳士
(札幌真駒内 RC)

お世話になりました

昨年の国際協議会閉会の辞で、ウィリアム（ビル）B. ボイド氏は冒頭で次のように述べました。「私たち皆にとって、7月からの1年間は、非常に大きな責任と多くの素晴らしい機会が伴う年となるでしょう。1年はあっという間に過ぎてしまいます。皆さんが今予想されるよりも早く、その1年を振り返るときがやってくるでしょう。」と。

本当に1年間お世話になりました。予想を遙かに超える数多くの皆様の友情に支えられました。しかし、当然のことながら数多くのご要望にお応えすることも出来ませんでした。この1年で私とロータリーとの関わりが終わってしまったわけではありません。

こんなに沢山の人々との出会いと友情の機会を与えて貰っているロータリーは私にとっては生活以外のすべての人生と言っても過言ではありません。

ロータリーは自分だけの世界ではありません。多種多様な生き様を持っているすべての人たちの共有の世界でもあります。

ともすれば、愛するあまり独占欲が出ないとも限りません。自分の考えるロータリーが真のロータリーであるという信念を持った人にも沢山出会いました。

どんな考え方があっても当然ではありますが、少なくともロータリーは提供と受領という観点からは、提供の場です。give and take では、takeの世界ではなくgiveの世界です。

ロータリーに対するあるべき姿を主張することはたやすいことです。しかし、提供しても受領するかどうかの選択は相手側の問題です。子どもに「部屋を片付けなさい！」と言っても片付けるかどうかは子どもの意志によって決まります。

当然「部屋を片付ける」という行為は絶対的に正しいから子どもが片付けない方が絶対的に悪いと決めつけるのは親側の考えに過ぎません。この場合、子どもに罰を与えるかどうかは親側の考えです。しかし、この場合でも、子どもが親の言うことを聞かないから私は親をやめます、と言うことは出来るでしょうか。

ロータリーを愛するあまり、自分の考えと違うからロータリーを退会するということは親をやめることと同じではないでしょうか。

ロータリーは閉鎖集団ではありませんから当然のことながら入会、退会は自由です。入会を非難されないように退会も非難されることはありません。

良いことをする人すべてが入会する権利を持っています。自分一人ではなしえない国際奉仕の機会も与えられます。能力は提供してこそ輝きます。奨学生の笑顔、友人の握手、共に流した汗、有り難うの言葉、すべてロータリアンの宝物です。これらは決してお金で買うことは出来ません。

ロータリー家族は世界で一番絆が深い愛情で結ばれた「味方」の集まりです。世界中に味方が増えれば一度も達成されなかった世界平和も夢ではありません。

ロータリーは心の活動です。それに費やす自己資金の提供は永遠に続けたいロータリーの夢をかなえるための小さな協力に過ぎません。

期待は必ず裏切られるものです。ロータリーは期待に応える組織ではありません。

希望と夢を少しでもかなえようとする組織です。希望と夢が湧いてくる集団です。道が無くなっても道を造り出す力を持っている事を実感した1年でありました。

ガバナー補佐ご挨拶



貴重な一年

ガバナー補佐 (第1グループ担当)

澤田 茂
(留萌 RC)

今年を省みますと不安な気持ちでガバナー公式訪問に随行又、会長幹事会やクラブ協議会などに特別な立場で出席をいたしました。従来は迎える方でしたので何か妙な感じでした。その後各クラブを訪問させて頂き夫々クラブの特徴が有りその優れたクラブ運営に只々敬服するものでありました。

私は、この年度はグループ内の「交流・親睦」をテーマに掲げて5月13日に第1グループ研修・交流会が多数の会員参加のもと開催できました事はロータリーの友情と、深い絆を確認させて頂きまして改めて各位に感謝致します。

この年度は多くのロータリアンとの交流が出来まして誠に貴重な一年でした。

今後共各クラブの益々のご発展とロータリーの奉仕の具現に向けてご活躍されます事を願っております。



グループの 友情を結集して

ガバナー補佐 (第2グループ担当)

田中 良一
(赤平 RC)

国際ロータリー第2510地区第2グループ担当ガバナー補佐として丸山淳士ガバナー始め、第2グループ会長・幹事各位、グループ内各クラブ会員皆様からの友情とお力添えで、一年間何とか任務を終えることが出来ました。

丸山淳士ガバナーの主旨をよく理解し、会員増強・ロータリー財団の重点項目を会員一人一人が尊重し積極的に取り組んでまいりました。

第2グループ内の行事等のガバナー公式訪問、第2グループ「都市連合会 (IM)」、グループ内「会長・幹事・補佐会議」も実施いたしました。

ガバナー補佐として、大げさですが東奔西走しクラブ訪問は多くの友情に支えられ、大変貴重な体験をさせて頂き、私にとって楽しい一年間でもありました。

第2グループ内全ての会員皆様に友情を結集して親睦を深めて頂き心より感謝申し上げる次第であります。

最後に、この一年間私のホームクラブ赤平 RC 会員皆様に心底からお礼と感謝申し上げ、ガバナー補佐退任のご挨拶と致します。この一年間誠にありがとうございました。



1年間を振り返って

ガバナー補佐 (第3グループ担当)

廣岡 秀博
(栗山 RC)

1年間、第3グループのガバナー補佐を務めさせて頂きました。会長・幹事会でグループの諸問題についての打合せ、丸山ガバナーに同行した公式訪問、補佐として各クラブへの訪問、親睦パークゴルフ大会、ゴルフ大会、昨年11月には、ふるさと環境貢献への実践のテーマの基、IM 開催を実施出来ました。第3グループの会員の協力、特にホストクラブの栗山ロータリークラブの会員には実行委員会を発足させ、IM を成功させるべく、ご尽力下さいました。IM の目的である会員相互の親睦と交流を深め、ロータリー精神の涵養を図ることができたと存じます。

私にとって、各クラブ訪問は、それぞれ个性的に活動されていることを知る機会と、多くの友情に支えられ、大変貴重な経験をさせて頂いて、楽しい1年間でした。今後のロータリー活動に生かして参りたいと思います。最後に丸山ガバナーの温かいご指導と第3グループ各クラブ会長・幹事そして会員の皆様のご協力に感謝を申し上げご挨拶と致します。



退任にあたって

ガバナー補佐 (第4グループ担当)

矢橋 温郎
(札幌西 RC)

丸山淳士ガバナーより第4グループガバナー補佐を委嘱されグループ内の8クラブの会長幹事様を始めとして各クラブ会員の皆様と本当に親しく接して戴きました。各々のクラブの特徴もあり本当に有意義な一年でありました。

IM についても第4グループ独自で開催を致しロータリーの温故知新 (21世紀のロータリーの展望) と題し2500地区からも道下俊一パストガバナーの基調講演や塚原房樹パストガバナーの講演、それにいま関心の深い CLP についての遠藤正之パストガバナー、岩城秀晴パストガバナー、酒井正人ガバナーエレクト、石田誠札幌手稲 RC 会員等によるパネルディスカッション等で多くの参加者を戴いて開催出来ました。

お陰様で一年間を無事に終了出来ましたのも第4グループ会員の皆様の温かい御指導がありましたからこそ心から感謝申し上げます。

ガバナー補佐ご挨拶



交流の輪が もっと大きく

ガバナー補佐（第5グループ担当）

川崎 秀雄
(札幌南 RC)

不安が先立つ補佐の役目でしたが、各クラブの会長・幹事さんをはじめ、メンバーの方々のご厚意と友情に支えられ本当に充実した一年を過ごさせて戴きました。特にロータリー創立記念日に開催された合同例会は各クラブの特段のご協力のもと、素晴らしい成果を残して閉幕しましたこと、終生忘れ得ぬ貴重な思い出となりました。又、グループ相互の関係が密なる事を思案しておりましたが、うれしい事にグループ合同のゴルフ会のご提案がありまして、シーズン早々の5月19日、5クラブ24名の参加を得て和気藹々の中で開催されました。

今は小さな一歩かも知れませんが、こうした事が契機となり、より大きな交流の輪が広がる事を期待している所でございます。クラブ訪問、歓迎して頂き楽しく、又学ぶ事の多い貴重な一年でございました。

茲に心からの感謝を申し上げ、御礼のご挨拶と致します。ありがとうございました。



ガバナー補佐の 1年を振り返って

ガバナー補佐（第6グループ担当）

林 正秀
(余市 RC)

振り返ってみれば2006-2007年度 第6グループのガバナー補佐を引き受けアツという間の1年でした。

補佐を引き受けるに当たり、自分に何が出来るのか大変不安でしたが、グループ内の会長・幹事さんを始め、会員皆様のご理解とご協力のお陰で何とか1年を大過無く終わる事が出来ました。

緊張の中、担当クラブの訪問に際し会長・幹事さんを始めメンバーの方々の温かい好意と友情に迎えられ訪問出来ました事に衷心より感謝申し上げます。

丸山ガバナーの指導のもと、そしてグループ内各クラブのご協力により、ここ数年途絶えていたIMが開催出来、グループ内の連帯と親睦をより一層深める事ができました。

ガバナー補佐という1年の短い期間の中で、丸山ガバナーをはじめ地区の方々そしてグループ内の多くのメンバーの方々との友情を分かち合う機会にめぐり合った事は、私にとりまして何物にも変えがたい貴重な経験であり生涯の宝物であります。

この1年間ガバナー補佐として私を支えて下さいましたホームクラブの皆さん、そしてグループ内各クラブの会長・幹事様とロータリアンの皆様に心からの感謝と御礼を申し上げます。



ガバナー補佐の 役目を終えて

ガバナー補佐（第7グループ担当）

木村 照男
(千歳 RC)

1年間、ガバナー補佐の任務を引き受け遂行致して参りましたが、この1年は非常に早かったような気持ちでいっぱいでございます。

期間中クラブを回るなか、いつも緊張感を持ちながら会長、幹事、会員の皆様にはいつも温かく迎えられ、非常に好感を抱きながら訪問することができました。

いちばん印象に残っていますことは、それぞれのクラブが一丸となって地域と密着しながら、種々多様な奉仕、親睦活動をされておりましてことに改めて感銘を受けた次第です。

上期前半までは恙無く終える事ができたようなのですが、年度途中より体調に支障をきたし、やむを得ず入院治療をすることになり、その間地区並びにグループ内各クラブメンバーの皆様方大変ご迷惑をかけることになり、心からお詫び申し上げる次第でございます。

最後に第7グループ6クラブの会員全員の皆さんが、ガバナー補佐として私を支えて下さった事に心から感謝申し上げます。



退任ご挨拶

ガバナー補佐（第8グループ担当）

中山 弘三郎
(静内 RC)

戸惑いを覚えながらお引き受けをして、あつと言う間に1年が過ぎた感じがいたします。

クラブ例会訪問・ガバナー公式訪問・会長幹事会・地区親睦野球大会・IMの開催等、曲がりなりにも当初の目標を何とか達成できましたのも、一重に丸山ガバナーのご指導と、グループ内各クラブ会員の皆様の、ご理解とご協力の賜物と深く感謝を申し上げます。

クラブ訪問では、それぞれのクラブの個性的な運営と雰囲気を感じ、多くのことを学び、会長幹事会では、地区目標の達成に向けた、認識の統一や今後に向けたグループのあり方など、貴重なご意見を頂きました。

丸山ガバナーを迎えての、地区親睦野球大会の開催に当たっては、クラブ混成チームの参加を通じて、グループ内の連帯感の素晴らしさを強く感じたところです。

また財政的負担を軽減しての、5年振りのIMの復活開催では、分科会による事例発表で、各クラブの活動状況や実情について、認識を深めると共に、ユーマに富んだ丸山ガバナーの記念講演には、多くの地域の人達の参加も頂いて好評を頂きました。

丸山ガバナーには、大変ご多忙のところをご無理なお願いをして、数度にわたりご足労を煩わし、多くの会員に感銘を与える、ご指導を賜りましたことに対して、あらためて厚くお礼申し上げます。

意を尽くしてませんが、この1年間力強く支えて下さった、ホームクラブの皆様はもとより、グループ内各クラブの皆様、並びに会員ご家族の皆様のご支援ご協力に、心から感謝とお礼を申し上げ、退任のご挨拶といたします。

ガバナー補佐ご挨拶



この一年を 振り返り・・・

ガバナー補佐 (第9グループ担当)
及川 力
(室蘭北 RC)

ガバナー補佐をお引き受けした時から長い一年になる事だろうと覚悟を決めておりましたが、次から次へと行われる行事に追われる中で短くも思えた一年間でありました。今は引き継ぎも無事終りほっとしたの一言の心境です。

改めてこの一年を振り返ると悔やまれる事も多くあり重点目標としておりました会員増強、退会防止に関しましても各クラブの皆様が大変なご苦勞、ご努力を下さいましたが思う様な成果がなかなか出せず私自身もお役に立てなかった事を後悔しております。しかしながら2クラブの創立記念式典・祝賀会、IM等では多数の皆様にご出席頂き第9グループのロータリアンの親睦と友情がより一層深まった事は成功でありグループ内皆様のご協力のお蔭であったと心から感謝致しております。

私のこの貴重な体験を今後のロータリー活動に活かしていく事が協力頂きました皆様へ報いるものと思っております。

末筆になりましたが、ご指導いただきました丸山ガバナー、グループ内の会長・幹事始め会員の皆様、一年間本当にありがとうございました。



10グループ・ ロータリアンに感謝

ガバナー補佐 (第10グループ担当)
加藤 健太郎
(函館 RC)

ようやく一年間の大役から解放され、今はほっとした気持ちでいっぱいです。

この一年間を振り返っての私の個人的な感想を述べたいと思いますが、一番強く感じましたのが各クラブを訪問させていただいて本当にそれぞれのクラブに個性があるという事でした。

大きな規則はかなりの細かな部分までありますが、その中で各クラブが個性というものを強く発揮していました。本当にロータリーの基本はそれぞれのクラブにあるという事を実感させていただきました。

また今年度のボイド会長の言葉の中で今後のロータリアンとしての生き方に参考とすべき言葉がありました。それは、「ロータリーには他の会員より偉い会員はただ一人もいない。重要な責務に携わる会員はいるが、他より重要な会員はいない。皆、等しくロータリーの一部であり、ロータリーの将来です。」

ともすれば、肩書きでみてしまう自分を反省し、ロータリーの基本の考え方を常に思い出させる為の、自分にとっての大きな言葉でありました。

私は不安と、半分仕方なくお受けしたこのガバナー補佐という仕事でしたが、この一年間を通してロータリーについて更に理解をすることが出来ましたし、ロータリーの楽しみ方も勉強させていただきました。

「No」と言ってはいけないロータリー」という言葉に従って「Yes」と言って良かったと強く感じております。

最後に素晴らしい第10グループのロータリアンの皆さんに心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。



1年をふりかえって

ガバナー補佐 (第11グループ担当)
大場 公孝
(北斗 RC)

1年間ガバナー補佐を務めさせていただきました。10・11グループは非常に仲が良く、第10グループの加藤健太郎ガバナー補佐と一緒に、年間計画を立てました。

第1回目のガバナー補佐訪問は丸山淳土ガバナーが地区研修セミナーでお使いになったパワーポイントを借用し、今年度ウィリアム・B・ボイドRI会長と丸山ガバナーの方針を各クラブで話しました。第2回目はガバナー訪問への同伴、第3回・4回目はクラブのアッセンブリー・例会に参加しました。北斗RCのガバナー訪問では、家族会を行い、ガバナーの趣味をお聞きして、軽音楽部の演奏の中にベンチャーズの曲を入れ、ガバナーにもギター演奏で参加していただきました。

10・11グループの6回の会長幹事会では、IMの議題が中心だったように思います。そのIMはガバナー補佐輩出クラブの函館RCと北斗RCとで運営委員会を作り、2月17日(土)国際ホテルで行いました。236名の登録を得ました。IMのテーマは、「家庭・教育・地域を考えるー今、少年事件が増える中で、私たちにできることー」、かとうメンタルクリニックの加藤知子さんに「精神科臨床から見えてくる子どもの世界」のご講演をいただいた後、パネルディスカッションを行いました。パネリストは北海道立大沼学園指導課長の高橋一正さん、函館市立亀田小学校校長の小岩真知子さん、和田法律事務所所長で札幌南クラブ会長の和田三三さんと加藤知子さん、コーディネーターは大場公孝が行いました。懇親会では、函館RC・函館東RCの合唱団の歌を聞きながら、なごやかに行われました。

ガバナー補佐を1年間させていただき、各クラブには個性があり運営されていることを体験させていただきました。地区、ガバナー補佐の皆さん、各クラブの皆さんと親しくなれたことが大きな財産になったと思います。

1年間、応援をいただきました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



ロータリーを通して

ガバナー補佐 (第12グループ担当)
鈴木 琢磨
(白老 RC)

ロータリー歴22年。只々歳月を過ぎていた私が当番クラブとして、その職責に叶うはずが無いと思いつつ、ガバナー補佐の任に就いて1年。「やっておけば良かった一年」では無く「やっていた良かった一年」にしよう。その一身で過ごさせて頂きました。

「ロータリー」って何だろう？と22年間思慮の末、あっそうか！ロータリーが全てでなく、ロータリーを通してそこに標があると考えました。ロータリーを通して出逢いがあり、ロータリーを通して奉仕が出来る。全ては素晴らしい人生を送る為のプロセスなのです。

この一年間、多くのロータリアンとの出逢いを頂いた事を糧に、一層のロータリー活動を目指して行きたいと思えます。

「第12グループ」の皆様、心から感謝申し上げます。

地区委員会委員長ご挨拶

地区拡大委員会

委員長

小林 博 (札幌北 RC・PG)


当地区におきましては遠藤秀雄年度(2004-2005年)の第10グループに函館ロータリークラブ亀井敏清氏を特別代表としてRI加盟申請を行い、9月3日、「函館セントラルロータリークラブ」の認証状の伝達式が行われました。これは近年にない拡大の素晴らしい実績であったと思います。

残念ながらその後拡大に関する情報を耳にすることなく、また当方より打診した有望と思われる地域、クラブにおいても拡大の可能性についての情報を得ることができませんでした。誠に残念なことでありました。

北海道の人口分布を見ますと人口は札幌及びその周辺に集中の傾向がみられます。このことから第4、第5グループを中心として会員拡大の可能性を模索すべきかも知れませんが、今のところ未だ具体的な情報を耳にしない状況であります。今後とも会員増強と並行し、新クラブの設立に向けての躍動的な動きを期待するものであります。

地区オン・ツー・ソルト レイクシティ委員会

委員長

遠藤 秀雄 (登別 RC・PG)


年次国際大会の主たる目的は、全ロータリアンに対して、ロータリーの発展を活発に推進する意欲をかき立てるもので、ロータリー家族の親睦を深めるものでもあります。オン・ツー・ソルトレイクシティ委員会は、地区内会員に参加を呼びかけ、そして楽しく参加し易いようお手伝いをするを目的としています。この委員会が企画したツアーに19名のご参加があり、5日間と7日間の2班の旅を無事に終えることが出来ました。ご協力いただいた委員の皆さん、参加された会員や配偶者の皆さんに感謝を申し上げます。この他にも国際大会には個人で参加された方やクラブ単位で参加された方々もおられました。色々な参加の仕方があってよいと思います。これからも大勢の会員が国際大会を楽しみ、そして良き思い出づくりにして頂ければ幸いです。

地区会員増強委員会

委員長

塚原 房樹 (札幌東 RC・PG)


ロータリーは組織維持のため会員増強は必然のテーマです。当地区でも会員の減少はとどまるところを知らず、クラブ活動に暗い影を落としています。増強はRI会長のためではなく、自分たちのクラブの存亡の問題です。会員の減少の原因はいろいろありますが、ロータリーが魅力を失ったことが最大の要因でしょう。ロータリー運動の目的は地域社会の職業人に社会の常設の制度として「自己修練」の場を提供することにはなりません。奉仕はあくまで「自己修練」のための手段

でした。そのロータリーが単に奉仕に明け暮れ、哲学を失い自らNPOを名乗るようになり、その結果ロータリーの魅力を失ってしまいました。またバブル崩壊後の経済情勢も直接影響しています。過疎化の問題も深刻です。人々の価値観も多様化しました。このように増強というと、最初から否定的な要因ばかりを挙げてしまい弱気になってしまいます。

当地区で増強に成功したクラブは、皆、共通して会員増強をクラブの最大の重点課題として位置づけ前向きに積極的に取り組んでいました。クラブの全員のベクトルが会員増強に集中していました。逆風のなか、自ら酔わなくて人を説得できるかという気迫さえ感じられました。会員増強と退会防止についての実施マニュアルの情報は、もう皆さん十分にお持ちです。問題は会員減少に危機感を持つことです。どうか次年度もクラブの会員全員の意識を喚起してください。5年後、3年後のクラブの会員数を設定して会員増強推進特別強化プログラムを策定してください。そして今一度ロータリーの魅力に思いを馳せて下さい。良いクラブを作るために会員増強は、十分条件とは申しません。しかし絶対必要条件です。増強に成功することはクラブの活性化に成功することです。今年度、力が足らず反省しております。

最後に会員増強委員会に寄せられたご協力に感謝申し上げます。

地区文献資料室

委員長

遠藤 一雄 (札幌東 RC)


文献資料室委員会に配属され、3年の時が経ちました。その間、塚原PG、板橋前委員長などから、文献資料室の重要性につき、多くのご指導を受けました。資料室で収集しました貴重な大量のデータ等を、散逸することなく分類、整頓しかつ各クラブの要請に、お応えできるよう努めてきました。

資料室の収納スペースが不足がちになりましたので、解決策の手始めに貸し出し用VTRをDVD化することとして、作業を開始しました。予算の関係で完了までには数年掛かるとは思います。管理の精度も高まると考えます。

大変ご要望のありました改訂版「ロータリー情報マニュアル」を、貸し出し用と販売用に用意いたしました。ロータリーの用語、クラブ管理、歴史的文書など、会員はもとよりクラブ幹事や情報委員長には非常に役立つ冊子かと思われます。ご利用ください。

地区クラブ奉仕委員会

委員長

堅田 進 (伊達 RC)


本年度のRIテーマを目標に、クラブ奉仕委員会として何が出来るかを議論しました。

クラブの現状を見つめ将来に対する展望を、そしてRIの動向を見極めていく事に結論づけた。

地区リーダーシッププラン(DLP)クラブリーダーシッププラン(CLP)の理解を深めることを第一に考え、地区協議会分科会の主要テーマとさせていただき、色々な面から討論し、又クラブの卓話でも話させていただきました。会員増強、退会防

地区委員会委員長ご挨拶

止に関しては、厳しい社会情勢の中で、非常に苦戦しておりますが、クラブの社会に対する責任と活動を強化すると共に、今日の社会に対応する変化も必要と感じました。

広報活動については、都市圏クラブより地方圏クラブの方が、よりメディアに多く取り上げられております。しかしながら都市圏のクラブに於いても、すばらしい事業を展開しているのにクラブ数が多いとの事で報道されないのが、現状であり今後の課題として考えていかなければならないと思います。

この一年間、すばらしい委員会のメンバーと語り合えたことに対し、心より感謝を申し上げたいと思います。

地区職業奉仕委員会

委員長

礪波 寿 (札幌南 RC)



RI 会長のテーマ「率先しよう」に従い、ロータリーの根幹ともいべき「超我の奉仕」の理念に基づいて、各クラブで、各自の職場で、各地域社会で「職業奉仕」の普及と実践の呼びかけをいたしました。

今年度の活動の成果として

- ・昨年度、地区内各クラブの会員の中から職業奉仕を通し、地域社会に貢献された事例とか、委員会活動についてのご報告の寄稿をお願いしましたが、今年度はそれを小冊子にまとめ発刊し、各クラブ、各関係機関に送付致しました。読者におかれましては自由な立場で活用されますようご期待申し上げます。

- ・会員に職業奉仕の意識と実践が高まるよう、職業奉仕に関する「クラブ・フォーラム」、「勉強会」や行動を奨励しましたが、各クラブで多くの実践をいただきました。

- ・今年度も、地区内各クラブから多くの「職業奉仕」に関する「例会卓話」の要請が入りましたので、地区委員で分担して要請に応えさせて頂きました。

今年度の職業奉仕委員会にご理解を賜り、ご協力いただきましたことに感謝申し上げますご挨拶申し上げます。

地区社会奉仕委員会

委員長

小山 秀昭 (札幌手稲 RC)



「2006-2007」年度をふりかえって

今年度も「社会奉仕活動」「子ども奉仕活動」「家庭奉仕活動」を中心にした事業でした。

ロータリアン個人が行う奉仕活動とクラブ会員全員で行う奉仕活動とがありますが、いずれの奉仕活動も地域住民のために役立つ奉仕活動であることが大切です。

各クラブの奉仕活動はそれぞれに地域に必要としている奉仕活動をしております。

今年度の各クラブの社会奉仕委員会の「活動計画書」を取りまとめ小冊子にして、それを元に地区内を4ブロックに分け「意見交換会」を行い、他のクラブの社会奉仕活動を参考にさせていただきました。

家庭奉仕活動担当は当委員会発刊の「家庭奉仕実践の手引き」を参考に、各クラブ委員に家庭奉仕活動の大切さと意義を説き、子ども奉仕活動担当は小中学校の授業や職場体験のための「ロータリークラブ協力会員名簿」の追加募集と別冊小冊子

を発刊して必要か所に配布いたしました。今後はこの名簿を活用して、奉仕の活動をいかに実践するかが大きな課題です。

今年度も、地区社会奉仕委員会は「各クラブ社会奉仕委員会の奉仕活動に必要な情報を提供する」事を目標にまいりましたが、ご期待に副えなかったところも多々あった事と思っております。

ご協力いただきました各クラブ社会奉仕委員会の皆様に感謝申し上げます。

地区国際奉仕委員会

委員長

橋本 信夫 (札幌西 RC)



「3年間の委員会活動を終えて」

一般に国際協調の観点からは、今ほど発展途上国の恵まれない人々に対する先進国のヒューマンな眼差しの必要などはありません。

当委員会は遠藤秀雄 PG 年度(2004~05年)に委員数を増やし、任期3年を目途に各地域から委員の参加を求め、国際奉仕活動に対するクラブ・会員の理解と参加を促すべく体制を新たに発足しました。

以来3年間、当委員会はアジア諸国からの援助要請と地区の支援クラブをつなぐコーディネーターとして情報収集とPR活動をもとにWCS委員会を支えとともに、2004年に姉妹提携を実現した韓国3700地区との親善交流を目指す国際友好委員会を支援してきました。

しかしこれらの国際奉仕活動を実現するには、参加クラブの意向、相手国や要請クラブの情報、実施計画の立案、事後の検証や支援の効果などに対する各クラブ・会員の関心と理解が不可欠です。これらのことから当委員会では国際奉仕関連事業を効果的且つ持続的に推進するために「国際奉仕だより」を発行し、長期的なPR活動を通じて国際奉仕活動への各クラブの参加を呼びかけているところです。

この3年間、変わらぬご支援を賜った各クラブ・会員の皆様とこの活動を大きく盛り上げた国際奉仕、WCSと国際友好の3委員会の皆様に心から感謝するとともに、阿部弘委員長をリーダーとする次年度委員会の活動にも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

地区世界社会奉仕委員会

委員長

斎藤 修弥 (室蘭 RC)



今年度委員会事業を終えて

今年も1年間があつと言う間に過ぎ去り、今年度終了あいさつを書く時期となりました。それだけ今年は沢山の事業に取り組み、充実した成果が得られた年度と考え、ご協力いただいた各地RCの皆様から心からお礼申し上げます。

具体的には既に活動報告でお知らせしたとおり12のRCがアジア各地のRCと連携を取りながら、さまざまなクリーンウォータープロジェクトや識字率向上の事業を実践していただきました。そしてこれらの事業の検証を目的として今年2月、出村副委員長を団長とする8人のメンバーによる「タイ検証ツアー」が有意義に終了しました。現地で肌で感じた夫々の事業の成果

地区委員会委員長ご挨拶

が、次年度事業に大いに生かされるものと期待しています。又、今年度開始早々開設した当委員会独自のホームページも有効に機能し、正確な情報収集と情報伝達に威力を発揮しました。

一方、事業のエントリーが予想以上に多かったため、委員会予算がショートし一部の事業費支出を次年度にお願いする事態となりました。これらの状況を勘案すると次年度は予算配分についても何らかの対策を講ずる必要があるのではと危惧しております。

さて、私事で恐縮ですが3年間の年期が明けようやく退任の時を迎えました。全く予備知識なしで委員長に就任した小生が、ともかくにも今日を迎えられたのは、出村副委員長を始めとする当委員会メンバー、そして国際奉仕委員会、国際友好委員会を中心とした沢山の方々のご支持とご協力の賜と心から感謝しております。この3年間で学んだ「国際奉仕のこころ」を何よりの糧として、これからのロータリーライフを有意義に過ごしていきたいと思っております。

お世話になり本当に有難うございました。

地区国際友好委員会



委員長

矢橋 温郎 (札幌西 RC)

韓国3700地区との交流について

ロータリー100周年事業の一環として遠藤秀雄ガバナーの基で締結されました姉妹地区3700地区との交流も3年目を迎えて軌道に乗った感じでございます。

昨年10月の当地区の地区大会には李龍雨ガバナーを始めとして10数人のロータリアンの参加がございました。

丁度学会等と重なりホテルが無く輪厚に泊める事になりましたが何とか受け入れる事が出来ました。

又、当方からは本年4月に丸山ガバナー御夫妻を始めとして岩城パストガバナー、酒井ガバナーエレクト御夫妻と函館五稜郭クラブから能戸地区代表幹事、本間次年度会長御夫妻を始めとして大勢の方々の御参加を得て3700地区の地区大会に大邱へ行き交流を深めて参りました。

今後この友好関係が続きます事を祈念する次第でございます。

地区ロータリー財団委員会



委員長

遠藤 正之 (札幌南 RC・PG)

今年も昨年に引き続き財団月間を中心に委員が手分けをし、財団の理解を更に深めていただくために数クラブを訪問し、財団に関する卓話、又諸寄付に対するお願いをさせていただいた。又、地区大会の2日目の地区指導者育成セミナーには、片岡財団室長に昨年同様お出でいただき、財団の重要性、現況についてもお話を戴いた。当日、元ロータリー財団奨学生の笹村久美子さん、元GSE団員の中内健太君の体験報告があった。

財団寄付については、本年の地区目標300,460ドルに対し298,176ドルの寄付があり、現在99.44%の目標達成率にあり、おそらく集計が終わると100%を達成するのではないかとと思われる、御協力に感謝致します。

内訳は後程詳しく報告されると思いますが、100%以上のク

ラブは45クラブ、最高は北斗RCの235.29%でした。ただ残念なのは「あなたも毎年100ドルを」を唱え乍ら、財団年次寄付0のクラブが4クラブもあった事です。

ロータリーカードの参加は329枚に及び、第1ゾーンで第1位であったのはカードへの理解をしていただいたものと感謝しています。又、恒久基金の寄付は600ドルで合計、298,776.24ドルとは淋しい気がしました。更に残念なのは使途指定寄付、ベネファクター、大口寄付者がなかったことです。

又、本年度はGSEのチームリーダーが突然体調を崩し、新リーダーの選定に丸山ガバナー以下委員の皆様のお苦勞をかけた事をお詫び申し上げます。又、小委員会の皆様にも充分な御協力をいただき充分な成果をみる事が出来たことを感謝しております。

地区国際親善奨学金委員会

委員長

瀧川 哲夫 (札幌手稲 RC)



この委員会は二つの実務が中心となっています。一つは候補者選考、もう一つはオリエンテーションです。

候補者選考では、昨年度より、ご多忙中ではありましたが、財団委員長、ガバナー、エレクトにも加わっていただくことができました。このことにより、多額のDDFを使う奨学金授与候補者選考にロータリーの基本精神が大きく加味されるようになりました。

一方、オリエンテーションは、英文申請書の添削から留学の心構え、ホストとの対応、保険の買い方に至るまで、本委員会の実務としてもっとも力を入れなければならないものです。ただし、ここ数年、大きな変化が起こっています。それは電子メールによる意見交換です。この方法(メーリング・リスト)により、具体的に実際の質疑応答が即時に全員に可能となりました。極端に言えば、会って説明することが不要になってきたのです。しかし、生の面談は常に不可欠の要素です。このことから、メーリング・リストを最大限に活用しながらも、年に3回以上は、委員と奨学生が実際に会うオリエンテーションを開催してきました。

一般に、奨学金を授与する側は、お金を渡すだけ、受け取る側は、お金をもらうだけ、という関係になりがちです。財団奨学金がお金のやりとりだけになるなら、ロータリーが財団を設置した意味が薄くなるでしょう。奨学生が「テイク&テイク」の気持ちから、ロータリーや国際社会に「自分が何をギブできるか」を考えてもらうようなオリエンテーションにしたいと思いつつ続けてきました。なかなか気を遣う仕事ですが、楽しいことも多く発見でき、いい機会を与えていただいたと感じています。

末筆ですが、ご理解・ご支援をいただいたロータリアン各位、そして選考準備からオリエンテーションまで共に苦勞していただいた委員各位に深く感謝申し上げます。

地区 GSE 委員会

委員長

岡崎 芳明 (小樽南 RC)



2006年~2007年はGSE交換プログラムのない年度の為(GSE

地区委員会委員長ご挨拶

委員会とはどんな仕事があるのだ」と聞かれる事があります。

我が地区での GSE プログラムは現在 2 年に 1 度受け入れと交換が行われていますが、実はその狭間である何もない年度が GSE 委員会にとっては重要な年度でもあります。

今期はまず RI3300 地区との国際渉外をしながら派遣のチームリーダーの選考を始めチームリーダーを決定いたしました。並行して派遣メンバーの募集の為に、ポスター作成と今回は初めての試みとして RI2510 地区のロータリアン全員に派遣メンバー募集のチラシを配布しました。お陰様で 6 名の団員が 6 クラブより推薦を受け、選考試験を行った結果、従来 4 名の派遣メンバーで有りましたが、DDF を使い 5 名にする事に選考委員会と決定をシマレーシア RI3300 地区の了解を得ました。

その後派遣団員 5 名のうち 3 名が函館地区からの推薦である事と、函館よりチームリーダーが選出された事から、毎月札幌より GSE 派遣リーダーが函館まで行き研修を行って来ました。(現在は派遣チームリーダーが長沼の方で有る為、札幌で派遣研修を行っています)

年度の後半になり、RI3300 地区よりのメンバー受け入れして頂けるグループとその中のホストクラブをお願いし決定しました。5 月の末には受け入れの際に GSE 委員会と受け入れグループの窓口になって下さるコーディネーターの皆様に御案内をしまして、コーディネーター会を開催し、受け入れ計画を建てて頂く為の留意点と団員をお世話下さるホストファミリー募集のお願いを致しまして今期の GSE 委員会全事業計画を無事終えました。

今期の GSE 委員会では残念な事と言えば、折角お受け頂いた派遣チームリーダーがサブリーダー含め相次ぎ体調不良の為やむなく辞任された事と、長年 GSE 委員会でご活躍下さった小樽南 RC の堀内団員が逝去された事です。

お陰様で派遣リーダーは長沼 RC の初代会長や地区でのご活躍で有名な清水慧子団員にお受け頂く事になりました。当地区では初の女性派遣チームリーダーとなります。

この様に受け入れや派遣がない年度の GSE 委員会は、次年度の準備の為に毎月委員会と派遣研修会を行い、更に GSE 対象国との国際渉外、派遣チームリーダー募集、派遣メンバー募集、選考試験、コーディネーター会を開催するという、決して暇な委員会ではなく、むしろ受け入れ派遣の年度より忙しく、GSE プログラムを円滑に進めていくには大切な年度と申せます。

どうか当地区のロータリアンの皆様にはロータリー財団の教育的プログラムであります GSE プログラムに深いご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に今期当地区ロータリアン皆様のご協力を頂き、RI3300 地区との交換プログラムの準備が着々と進んでおります事をご報告申し上げます御礼に代えさせていただきます。

ありがとうございました。

地区財団学友委員会

委員長

桃井 康夫 (札幌清田 RC)



現在、学友会は、2007年6月時点で約300名に達します。学友は、各方面で皆さん活躍していますが、ロータリークラブの会員として活動している学友も増えています。当地区においても2名のロータリー会員がおり地区委員会等で活躍されています。

本年度の活動の中では、2007年9月2日に開催された第三回帰国財団学友報告会がもっとも大きなイベントになりました。白知学友会会長を中心に10名以上の学友が素晴らしいチームワークで企画の立案から何度も打ち合わせを重ね、センチュリーロイヤルホテルにて第三回帰国財団学友報告会を開催しました。道外

在中の学友や海外からの留学生を含め60名が参加する素晴らしい報告会でした。成長し続ける財団学友会を、まさに印象づける行事となりました。

尚、学友会では、各ロータリークラブの要請にもとづき積極的に、卓話にも参加しました。本年度は、10以上のロータリークラブで卓話をさせていただき、皆様からの、高い評価とご支援ご理解を得ています。

その他には、スポンサークラブでの帰国報告、国際親善奨学生オリエンテーションへの参加など、さまざまロータリー活動に積極的に参加しています。

学友委員会は、学友会をサポートするとともに、少しでも多くの学友がロータリー活動に理解を持ち、将来ロータリークラブに参加し活動してくれる事を、期待しています。

地区補助金委員会

委員長

朝倉 正人 (札幌東 RC)



この第2510地区には73の RC がありますが、各クラブでは日頃より職業奉仕活動、社会奉仕活動を実行していますが、クラブ独自の奉仕活動、地元地域に密着した活動、又自ら会員が汗を流す活動に対して、支出、補助させて頂きました。

クラブでの卓話を1回、セミナー等で広報活動をさせて頂き、少しずつクラブにおいて認識されて来ていると思います。

丸山ガバナー、遠藤正之財団委員長、八木補助金監督委員長の出席を頂き、委員会を2回開催し、目安となる基準を考慮し、厳正かつ公正に審査致しました。

今年度は28,000ドルの予算でございましたが、8クラブ11件の申請があり、検討の上支出致しました。

活動内容はサッカー大会、コンサート、植樹等の活動が多く見られました。

又、支出額を早く各クラブへ連絡するよう考え、作業をして参りたいと思います。

多くの活動申込書が提出されることは、活発に奉仕活動が行われていることなので、今後ともこの委員会を理解して、活用して頂きたいと思います。

地区補助金監督委員会

委員長

八木 昌興 (札幌西 RC)



補助金委員会に出席し正しく公平に補助金が使われているかを監督いたしました。

朝倉委員長がベテランですし、丸山ガバナー、遠藤正之のバスターガバナーにも出席いただいて有意義な委員会となりました。

ただ、各クラブで誤解されているところが少しあるように思いました。例えば、ただの寄付行為又は賞品の提供などでは無く、クラブ全体の意志で会員が身体を使って奉仕をするプロジェクトでなければならない、とかロータリアン及びその関係者に補助金が使われない事とかですが、もう少し知っていただく努力をしなければいけないのかなと感じました。

来期も補助金監督委員長を拝命する事になりましたので、どうぞ指導の程宜しくお願いいたします。

地区委員会委員長ご挨拶

地区新世代委員会

委員長

細川 好弘 (静内 RC)



新世代に夢をー

スポーツ大会から郷土芸能等区内各クラブの新世代奉仕のご功績に感謝します。

「未来は遠くにあり、出会うのを待っているというものではありません。未来は今ここでつくられるのを待っているのです。今、ロータリアンは奉仕の理想を来るべき世代につなぐことによって、よき先達として行動することが出来るのです。」

ロータリーの新世代元年とも言えるべきアジア RI 会長の新世代にかける言葉に魅せられて2004年7月地区新世代委員長としてその重責を、多くのロータリアン仲間、新世代の若い人々に支えられて今日を迎えている事に感謝しております。

この程地区新世代委員会として関連委員会の現状、地区内73クラブの新世代奉仕の取組み等について簡略に編集をさせていただき、手づくりの「地区新世代奉仕の手引き」として発行させていただきました。

内容についてご不満の点をご容赦いただきたく存じますが、今後の新世代奉仕にご活用願えれば幸いです。

各クラブの新世代への熱い想いが伝わって来る内容になっておりますが、若い人々との国際交流事業、例えば長沼 RC の国際交流フェスティバルはじめ、青少年交換事業も含めて全クラブの80%近くが計画実施されております。次にスポーツ大会、少年野球大会(8クラブ) サッカー大会(4クラブ) に続いて剣道大会、水泳大会、相撲大会、パークゴルフ、フットサル、バレーボール、ドッチボール、サマージャンプ等、障害児と共にボランティア、植樹、芋掘り、花火大会等(10クラブ)、優良青年表彰事業(4クラブ)の他、ローターアクト、インターアクト提唱クラブ、クラブ奨学会制度、伝統文化や郷土芸能の伝承、宇宙少年団の支援、盲導犬大会、写生大会、少年少女キャンプ、英語暗唱大会、少年団の育成事業等、幅広くユニークな新世代奉仕活動が地区内で展開されている事をご理解いただけると思います。

「青少年に夢を与え、私達も楽しい夢と一緒に見よう」とコメントされた丸山淳士ガバナーのご指導のもとで青少年プログラムにおける、虐待、ハラスメント防止に取り組むために「地区危機管理委員会」の創設準備に参加させていただいた事も大きな出来事であります。

新世代の若い人達と共に新世代奉仕に汗し、智恵をいただいたロータリアン各位に「感謝」を申し上げ、新世代に限りなく「奉仕の理想」が鼓吹され続けるよう期待を致します。

地区インターアクト委員会

委員長

戸部 アナマリア (札幌はまなす RC)



昨年8月にインターアクターの学生、顧問の先生方とロータリアンの夫等総勢17人で韓国を訪問しました。とても良い企画で色々な経験をして来ましたが、残念だったのは現地のロータリアンやインターアクターの方々との交流の場が全く無かった事でした。又、地区大会の並行プログラムではインターアクトの活動の発表があり、アクター達の活動内容が良くわかるものでした。し

かし、並行プログラムの為に殆どのロータリアンは本会議に出席しこのプログラムへの参加者が少なかったことは惜しまれました。

この6月中旬にインターアクト年次大会が開催されました。私は世界大会へ参加の為に出席出来ませんでしたが、中田副委員長及び委員の皆様、顧問の先生方のご協力の元で無事終了出来ました事に深く感謝しているところであります。

ソルトレークには大会の2日前に着き、直ちに会場へ行き、インターアクトに関する資料を探しました。英語、スペイン語、日本語の資料は皆無、ブースの資料担当者に資料の有無を聞いてみると翌日には用意しておくとの事でしたので再び訪ねてみましたが、フランス語とポルトガル語の資料が各1冊あるのみでした。これには正直言って委員長にとっては大変ショックな事でした。

世界大会では多くの出会いや再会がありました。なかでも数万人が入り出る会場で偶然にも MAT CAPARAS 氏 (フィリピン) と FRANK DEVLIN 氏 (メキシコ) のお二人の元 RI 会長に再会し楽しい一刻を持った事は素晴らしい思い出になっております。

インターアクター、顧問の先生と学校関係者の皆様、スポンサークラブ及び地区委員の皆様、そして丸山ガバナーにはこの一年間に賜りました温かく友情溢れるご指導、ご協力に対し心より感謝申し上げます。

地区ローターアクト委員会

委員長

五十嵐 桂一 (千歳 RC)



今年度は、年度当初にあるローターアクトクラブが突然の休会を宣言してしまい、そのクラブが地区協議会のホストクラブだった為、混乱の中スタートしました。アクト会員のレベルアップを最大目標に於いていたので、当委員会および提唱クラブの困惑は大きなものでした。アクトの地区役員が地区協議会のホストを引き受け、急遽日程を変更して開催に漕ぎ着けましたが、その内容はアクトらしく、全員参加型の大変楽しく有意義な物でした。参加されたロータリアンは、その内容に大いに満足されたと思われる。各クラブの人数が限られ、活動内容も縮小傾向にある中で、隠された実力にあらためて感動しました。彼ら自身でも今後の活動に今回の事態を生かしてくれる物と思います。

当委員会では、委員それぞれがロータリーの活動以外にも、ローターアクトの例会や各行事の日程をこなさなくてはならないのでとても忙しい思いをしますが、各委員の協力で何とか無事に一年を終える事ができました。ガバナーを始め地区役員、各提唱クラブの皆様にご感謝申し上げます。

地区青少年交換委員会

委員長

宮崎 善昭 (札幌西 RC)



人間の善意を信じて

青少年交換委員経験のない委員長として一年間活動をして参りました。前委員長が残された活動のレベルを落とさぬよう、他の委員の皆様、事務局をはじめ、地区内の各クラブの皆様、ホストファミリー、ホスト高校の関係者の皆様、日本語教師の皆様には、ひとかたならぬご尽力をいただきましたことを先ずもって感謝申し上げます。

地区委員会委員長ご挨拶

本活動は、青少年が外国での生活体験を通して国際理解をしながら、人間の「善性」に気付き、将来、自分が社会や隣人に奉仕し、貢献することを価値観として持ち、それを実践して生きていくことに期待をしています。大人としてロータリアンとしての「生きざま」を彼ら、交換留学生の青少年に伝えながら、自らも人間的に成長していくことに重要なプログラムの意味があると思います。一人の日本人の学生を送り出し、一人の外国人を受入れるには並々ならぬエネルギーを要しますが、ここに奉仕の心を見出していきたくと考えております。

地区米山記念奨学委員会

委員長

大石 春雄 (札幌はまなす RC)



忙しくも楽しい1年間

昨年7月に竹原委員長より引き継いでから、早1年が過ぎました。

振り返ってみますと、3年前、竹原前委員長は何も分からない私を地区米山記念奨学委員に推薦して下さい、委員会の事業のすべてを教えてくださいました。2年間にわたって行われた奨学生・学友・ロータリアンが、国自慢の料理を作り、それを食しながらの交流会は非常に素晴らしい企画でした。

はたして私は何が出来るのだろうか。一人の力は一人分しかありませんが、全員の力を結集できれば何倍もの結果を得ることが出来ると考え、7月の第1回委員会におきまして委員全員に1年の行事を説明し担当をお願いしました。

今年度の交流会は、丸山淳士ガバナーのご協力の下、奨学生・学友・ロータリアンが家族とともに今話題の旭山動物園にバス旅行を計画しました。奨学生も毎日の学業の疲れも癒された大変喜んでる姿を見て、ほっとした気持ちと、地区米山奨学委員を終えた後もこの行事に参加協力して下さいました砂川 RC 内野会長には、感謝の気持ちでいっぱいです。

1月14日は次年度奨学生の選考試験、2月25日は2007年3月修了者の歡送会、4月15日は2007年～2008年のカウンセラー研修、奨学生・カウンセラーオリエンテーションと忙しい1年でしたが、奨学生の異国で苦労しながら勉学に励み卒業後は、『自国に帰って国のために頑張りたい』『将来は自分もロータリークラブを作り恩返しをしたい』などの言葉を聞くと、私自身忙しさを忘れ素晴らしい体験をさせてもらったと感謝の1年でした。

1年生委員長の私を支えて下さり、又一緒に委員会行事を支えて下さいました丸山淳士ガバナー、伊藤長英常務理事、そして副委員長を始め全委員の皆様にご心よりの感謝申し上げます。

地区米山学友委員会

委員長

米谷 龍三 (札幌東 RC)



米山奨学生・学友の就職支援に関する調査について

今年の2月ロータリー米山記念奨学会は、奨学生及び学友に対し就職支援に関するアンケート調査を行った。半世紀に及ぶ奨学生への支援は、すでに13,000人を超え、日本に在留し日本の企業で活躍する学友も、3,000人を突破している。これによってようやく微力ながら、日本経済界に対する貢献度が、少しずつ増加し始めた事は大変喜ばしい事といえる。

アンケートによると、学友の約6割以上が将来は本国ではなく、日本での就職を希望。そのうち約5割が民間企業、大学・研究機関に身を投じる事を望む学友は約3割を占めている。しかしながら、日本は元来単一民族（長い期間からみれば様々な種族が混合した集合体である事実は否定出来ないが）のため、社会的に閉鎖的側面も多く、その閉鎖性の弊害が経済はもちろん、政治にも色濃く及ぼし、今回のアンケートの中にも約5割の学友が、外国人故の差別を感じた点を指摘している。今後、日本の企業はその偏見を捨て、採用の際にはその能力はもちろん、その人となりの人間性を考慮に入れた方法を取り入れるべきである。その大きな理由として、昨今特に若い日本人の、単なる高学歴ではあるが学力がない人の増加、あるいは倫理性の欠如した高級官僚の増加は、むしろ同じ日本人として非常に恥ずかしい事のように見えてならない。私は米山学友委員長はともかく、この活動に参加して未だ2年足らずです。しかしながら、学友会員の方々の礼儀正しきや、言葉使いはもちろん語彙の豊富さを持つ会員が、少なからずおられる事は事実で、特に米山学友活動に携わったロータリアンには、強く印象が残っている様です。日本人は比較的肩書きや学歴など、表面的な基準で人を判断し、そして過ちを犯します。例えば、昨今の社保庁による振込詐欺的行為をはじめ、元官僚から検察、弁護士の国民からすれば非常識極まりない行動は、ロータリー精神の対極に位置づけられ、この歪んだ実態には大いに失望を感じます。

以上、私がこの活動を通じて多くの事を学ぶ事が出来ましたが、私は常日頃「4つのテスト」を座右の銘として、今後ともロータリー活動に励んでいきたいと考えております。

地区 I C 委員会

委員長

坂井 治 (千歳セントラル RC)



本年は3回の委員会（登別1回、千歳2回）を行いました。

委員会メンバーも気心が知れてきましたので後半はあまり硬くならないように配慮し自由な意見交換出来る委員会となりました。

その結果次年度に向けて地区ホームページをより利用しやすくするような改善やクラブや地区委員会が簡単に利用できるブログの雛形の製作などのテーマが決まりました。

地区大会では札幌市民会館で委員会 PR ブースを開設し大型携帯電話をクラブ携帯ホームページなどの PR をいたしました。

本年も2クラブ（小樽南 RC、登別 RC）から卓話にお招き頂き地区ホームページやメルマガ、地区メーリングリストなどの PR をさせて頂きました。

（昨年の反省を元に出来るだけボトムアップすることに重点を置き難しい言葉を使わないように配慮しました）

本年はまたクラブホームページが立ち上がり27クラブ（うち2クラブは休止中）がホームページを開設しています。

4月の地区協議会ではクラブ奉仕部門でサブリーダーを務めさせて頂いた、地区内クラブ奉仕担当委員長さんの前で委員会の役割を PR させて頂きました。

その結果、メルマガの読者登録も増えましたしメーリングリストも以前より活発に利用されるようになりました。

無事今年度を終えられましたことを、支えていただいた各クラブの皆さんや委員会メンバー、地区スタッフの皆さんに感謝いたします。

ホームページ閲覧数

（7月1日から6月16日まで） 10,965件

メーリングリスト登録者数（5月1日現在） 169名

第98回国際ロータリー年次大会（6月17日～20日）

オン・ツー・ソルトレークシティ委員会 委員長 **遠藤 秀雄**（登別 RC・PG）

国際大会は、ロータリアンにとって最も大きなイベントであり、国際交流の場であります。オン・ツー・ソルトレークシティ委員会は、地区会員が参加し易くするためのお手伝いをするを目的としています。これまで4回、旅行会社と企画交渉や委員会を開きました。6月1日には参加者の顔合わせと説明会も行いました。

ソルトレークシティは人口2万人弱の小じんまりした都市ですが、2002年の冬季オリンピック開催地として有名であります。周辺は山岳や荒野、大塩湖に囲まれた苛酷な環境にありますが、モルモン教徒が拓いた町で、大陸横断鉄道の要所として発展しています。東京ロータリークラブが国際ロータリーに加盟する2年前、1919年6月にも、国際大会の開催地となっています。その当時の登録者数は3083名と記録されていますが、今回は16500名と発表されています。主会場はソルト・パレスで広大なコンベンションセンターであります。有名なモルモン教大聖堂とは、交差点をはさんで向かい合わせになっています。開会本会議は6月17日14時半～17時と18時半～21時の2回行われましたが、時間帯の関係もあり、第1回目の方が人気が高かったようであります。開会式に先立って日本人朝食会がシェラトンシティセンターで行われました。私達の宿泊ホテルでしたので、全員で出席しました。参加者は700名以上だったようです。

今回のツアー参加者19名中15名が大会参加後、不夜城ラスベガスに乗り込みましたが、カジノばかりでなく、無料・有料のエンターテイメントや気軽な空からのグランドキャニオン観光等、多目的なりゾート地と化していることに驚きました。

今回開催地のソルトレークシティは交通にやや難があり、ツアー到着が遅い時間となるため、当初考えていた北海道ナイトは断念し、ささやかな夕食会に切り替えてご案内したところ、酒井ガバナーエレクトご夫妻、札幌東クラブの大勢のご参加をいただき、総勢31名の夕食会となり、モルモン教のメッカで大変盛り上がり、親交を温めることができました。ご参加の皆様に感謝を申し上げます。



**ビバ（万歳）！ 世界大会！
2006～2007年度 RI ソルトレークシティ大会参加報告**

会 長 **奥貫 一之**（札幌東 RC）
国際奉仕委員長 **田中 新一**（札幌東 RC）

国際ロータリーの年次大会は世界中いつもなら行けない様な所で開催されて来ました。札幌東 RC の一行は世界大会のおかげで、ここ20年間でアフリカ以外の全ての大陸へ行く事が出来ました。そして大会出席と観光のみではなく、世界各地にいる「ロータリー家族」との再会が何よりの楽しみとなっております。今回、ソルトレークシティ大会も帰路ポートランドに寄り、姉妹クラブとの交流、かつての留学生や家族との再会等、個性あふれる旅をしてきましたので報告申し上げます。

参加者：青木 功喜、大 公一郎、大 惇子、奥貫 一之、奥貫 せつ、
田中 新一、田中 悦子、塚原 房樹、塚原 孝子



クレイグ会長とバナー交換
当クラブと姉妹提携をしている北ポートランド RC は名門ゴルフ場のレストランを会場にしています。10年前の横山会長時代からの久々の再会になります。点鐘は12時、全員起立して右手を胸に当てて、アメリカ国旗に向かって忠誠を誓い、神に祈りを捧げてから例会が始ります。持参したバナー、時計台の額、雪まつりの絵ハガキ、交流の歴史の写真等が喜ばれました。



両クラブの姉妹提携の前途に幸あれとガッチリ握手
少人数のメンバーでも国際奉仕は活発で、中米とニカラグアに人道援助を毎年継続している姿に頭が下がります。クレイグ会長とガッチリ握手、ロータリープログラムの素晴らしさを実感するひとときでした。



留学して人生が変わりました。夫君アンディさんと
ジェニファーさんは同時テロの日の2日前にアンディさんと結婚式をあげました。彼女は16才の時に日本に留学した事で自分の人生が変わったと話しています。再来日してから東海大で英語を教え、帰国後、英語の解らないアメリカ人学生に英語を教えるためスペインに留学したり、国際人になってゆきましたが、日本人の心と感覚をしっかり持っている姿に私達一行7人はロータリープログラムの偉大さを実感しました。



再会を誓い合う一行
9時になっても外は尚明るいこの時期のポートランド、別れを惜しむ一行はシティ・グリルの前で記念撮影、必ず又会おうねと誓い合い、抱き合っ、再会の喜びをかみしめ、別れの淋しさを実感するひとときでした。

第4グループIM報告

《ロータリーの温故知新 21世紀のロータリーの展望》

○基調講演

- 【職業奉仕こそロータリーの原点】 RI 第2500地区パストガバナー 道下 俊一 氏
 【岐路に立つロータリー】 RI 第2510地区パストガバナー 塚原 房樹 氏

○パネルディスカッション

- 【苦悩する CLP】
 コーディネーター パストガバナー 遠藤 正之 氏 (地区研修リーダー)
 パネリスト パストガバナー 岩城 秀晴 氏
 パネリスト ガバナーエレクト 酒井 正人 氏
 パネリスト 札幌手稲 RC 石田 誠 氏

去る5月20日(日)、第4グループのインターシティ・ミーティングを行いました。会場は北海道厚生年金会館、日曜日の午後半日をかけ、当日のプログラムは上記の内容であります。第4グループは現在約410名の会員数であります。当日の登録者数は実に280名で、全会員の70%に当たります。

主催した第4グループガバナー補佐矢橋温郎氏の意図は100年余を経過したロータリークラブが時代の変遷と共に大いに変容を来たしております。RIも時代のニーズに合わせ、規定審議会、又RI理事会等で種々論議を尽くされ、徐々にその裾野を拡げながら、新しい方途を示してはいます。しかし、ポール・ハリスの発想、ロータリーの基本は変わってしまったのか。特に最近推奨されているクラブリーダーシッププランについては、ロータリー運動を具現化する手段としていかなるものなのか。なかには、ロータリーのシステムを変える事によるロータリーの思想の根本にも影響を与えるものではないかと危惧する会員も多くおります。こんな時こそロータリーの創立時の発想とその展開、つまりロータリーの源流をもう一度遡り、それを通して21世紀のロータリーのあり方について共に勉強しようではないかと云う事であります。

前半の基調講演は二氏によるもので、道下先生による、ロータリーが職業奉仕から生れ、職業奉仕の帰結としてロータリーの奉仕の理想の精神があるという熱心な問い掛けに一同心が洗われる思いをしました。次いで塚原 PG のロータリーの発展過程を通してその光と影の部分について詳細に語られ、ロータリーのあるべき姿を示唆され、お二人の一時間半に亘る熱弁に出席者一同感動しました。

後半は、遠藤正之 PG をコーディネーターに据え、日本に於ける現時点での CLP の位置づけから始まり、岩城秀晴 PG の CLP を未だ理解されていない会員向けの啓蒙の概要が説明され、導入の手順を懇切に指導されました。酒井 GE は CLP のメリット、デメリットを話され、小規模クラブでの有効性について熱心な説明がありました。次いで、石田会員(札幌手稲 RC) は CLP 反対から消極的賛成論に立場を変えた理由をユーモアを交え実際の現場での苦闘をリアルに話されました。又、コーディネーターのお勧めに、道下、塚原両 PG も積極的に加わり、導入についての慎重さと注意点等幅広いディスカッションが展開されました。

それに応じて場内より数名の方々それぞれのパネラーの方に自分の意見の陳述や質問をされ、熱気あふれる会場となり時間を大きくオーバーしてしまいました。

最後に丸山ガバナーが感想を述べられ、近年稀に見るハイレベルの IM であった事、そして熱心さのあまり、自分の持ち時間がなくなり十分な講評が出来ず申し訳ないというユーモアで締めくくられました。

IM の終了後、隣室に準備された立食ではありますが、参加者一同用意された沢山の食事もおぼろげな健啖家ぶりを発揮されそれぞれ交流を深め合った次第です。手に手つないでを合唱し熱い一日の幕を降ろしました。

(文責 実行委員長 大金武夫)



パネルディスカッション



基調講演
 【岐路に立つロータリー】
 パストガバナー 塚原房樹



基調講演
 【職業奉仕こそロータリーの原点】
 パストガバナー 道下俊一



全日本ロータリークラブ親睦合唱祭開催される

さる6月2日、コンサートホール「キタラ」において、丸山ガバナーをお迎えし、全日本ロータリークラブ親睦合唱祭が開催された。

今年で13回目を迎え全国から24チーム、合唱には487名が参加、始めに札幌東ロータリークラブ<イーストハーモニー>の合唱で始まり遠くは別府、長崎から参加、全チーム美しいハーモニーを聞かせていた。世界に誇る会場で歌うことを楽しみに、全国から集まったロータリアン達の熱唱で大会は無事終了し、終了後札幌パークホテルで行われた懇親会には、536名が全国から集まった。札幌東ロータリークラブ<イーストエコー>のハーモニカ演奏で始まり、音楽同好会の武田俊男会長のユーモラスな挨拶で会場沸かせた、各地から集まったチームが次々ぎと得意な歌を披露し親睦の輪を広め次回の松江の開催に再会を強く約束していた。



イーストエコーのハーモニカ演奏



武田音楽同好会会長あいさつ



モンゴル馬頭琴の演奏



会場風景



ガバナーもいっしょに

新旧ガバナー補佐引継ぎ会議 新旧委員長引継ぎ会議開催報告

6月10日(日)、ホテルライフオーツ札幌にて新旧ガバナー補佐引継ぎ会議と新旧委員会委員長引継ぎ会議が開催されました。午前中は新旧ガバナー補佐引継ぎ会議が行われ、今年度ガバナー補佐より各グループの報告がされ、次年度ガバナー補佐からは活動計画、行事予定等の連絡がありました。

午後からは新旧の各委員会委員長より、今年度活動報告と次年度活動計画が発表され、午後4時からの今年度のご慰労を兼ねた合同懇親会をもって終了となりました。



～受入留学生送別会 & 派遣候補生壮行会報告～ 青少年交換委員会

2006年8月に来日した受入留学生の送別会と、2007～2008年度に海外へ留学する派遣候補生の壮行会が2007年6月23日、地区青少年交換委員会主催により、北海道厚生年金会館で開催されました。

今回帰国するのはタリンさん（札幌東 RC）、エーツ君（札幌手稲 RC）、ウィリアム君（札幌清田 RC）、クリスチーナさん（北広島 RC）、アリーシャさん（恵庭 RC）、アマンダさん（函館 RC）の6人です。みなさん、この1年間ですっかり成長し、最後の日本語のスピーチも自信に満ちあふれていました。なかでも、クリスチーナさんは日本舞踏を、アマンダさんは歌のパフォーマンスを披露してくれて、満場の喝采を浴びました。北海道を離れるのは、みなさびしそうでしたが、この1年間で得た貴重な経験がこれからの人生に役立っていくことを願っております。

また、今年の8月に渡航する予定の大泉さん（札幌モーニング RC）、濱谷さん（小樽南 RC）、高島さん（千歳 RC）、畠山さん（札幌はまなす RC）、切金さん（札幌手稲 RC）、新宅さん（札幌北 RC）、坂井さん（新札幌 RC）の7人の派遣候補生の壮行会も併せて行われました。これからの留学生活に向けて緊張と不安と、そしてそれ以上に期待をもって、準備をすすめていることがうかがわれました。来年7月にみなさん無事で帰国されることをお祈りしております。

（地区青少年交換委員：西田雅之）



着物のすてきなクリスチーナさん



森川さん（函館 RC）夫妻と合唱するアマンダさん タリンさんのスピーチ



エーツ君



ウィリアム君



アリーシャさん

国際友好委員会ニュース

日本ロータリー親睦ゴルフ大会（JGFR）北海道大会が2007年6月25日（月）小樽カントリー倶楽部にて全国のロータリアンとご家族、115名が参加され開催されました。天候にも恵まれゴルフを楽しみ親睦を深め、プレー終了後、丸山ガバナーにご出席いただき懇親会（表彰式）が行われました。

【成績表】

	A 部門			B 部門		
	氏名	所属クラブ	NET	氏名	所属クラブ	NET
1位	瀬川 俊男	新札幌	71.9	岩田 秀那	日立港	72.3
2位	坂本 正人	田辺東	72.0	鈴木 道明	日立港	73.1
3位	半田 純一	宇都宮西	72.3	太田 豊隆	和歌山東南	74.0
4位	崎原 信一	那覇西	72.7	梶山 俊彦	呉	74.9
5位	駒阪 純章	和歌山東南	72.7	嶋田 修作	広島安芸	75.3
BG賞	谷口 智治	東京世田谷	G 76	鈴木 道明	日立港	G 85

	C 部門（女性）			70歳以上部門（男女）		
	氏名	所属クラブ	NET	氏名	所属クラブ	NET
1位	磯賀 稔子	宇都宮西	72.7	半田 純一	宇都宮西	72.3
2位	松崎 範子	高知東	75.4	嶋田 修作	広島安芸	75.3
3位	前田 千津子	田辺東	75.5	松田 一雄	ゲスト	75.7
4位	田中 公子	総社	75.8	今井 賢二郎	大阪城南	75.9
5位	山本 千津子	四日市	77.0	諸川 雅一	浜益南	76.0
BG賞	磯賀 稔子	宇都宮西	G 87			

※ベストペア賞 1位 磯賀 稔子、半田 純一（宇都宮西）

新入会員のご紹介 (敬称略)



長万部RC **中 田 謙 二**
平成18年10月1日入会



長万部RC **白 井 捷 一**
平成18年12月1日入会



長万部RC **菊 地 正 行**
平成18年12月1日入会



長万部RC **佐 藤 一 雄**
平成18年12月1日入会



白老RC **奥 村 広**
平成19年4月1日入会



白老RC **鈴 木 孝 義**
平成19年4月1日入会



白老RC **若 林 尚 文**
平成19年4月1日入会



北斗RC **谷 藤 輝 明**
平成19年5月3日入会



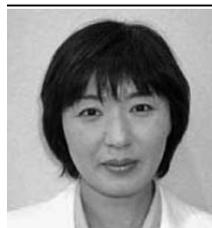
苫小牧RC **角 田 幹 彦**
平成19年6月1日入会



札幌北RC **牧 野 伸 一**
平成19年6月25日入会



新札幌RC **田 中 由 彦**
平成19年6月20日入会



新札幌RC **小 嶋 裕 美**
平成19年6月27日入会



室蘭北RC **宮 地 隆 夫**
平成19年6月5日入会

ロータリー財団寄付

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

滝川 RC	柳 清二	会員 (2回)	6月22日
滝川 RC	高山 訓正	会員 (2回)	6月22日
江別 RC	吉田 欣司	会員 (2回)	4月17日
江別 RC	林 重樹	会員 (1回)	4月17日
江別 RC	郷 和平	会員 (3回)	6月22日
岩見沢 RC	田苅子敬夫	会員 (2回)	5月25日
当別 RC	小山田雄一	会員 (1回)	6月29日
札幌あけぼの RC	笠原 嘉郎	会員 (1回)	6月29日
札幌西北 RC	富岡 公治	会員 (2回)	6月 8日
札幌手稲 RC	栗津健太郎	会員 (1回)	6月22日
札幌幌南 RC	和田 壬三	会員 (1回)	6月29日
札幌清田 RC	江口 洸	会員 (1回)	5月18日
札幌南 RC	佐藤 伸	会員 (2回)	3月 9日
		(認証もれ)	
札幌南 RC	杉目 幹雄	会員 (1回)	3月 9日
		(レベル訂正)	
三石 RC	石垣 文雄	会員 (2回)	6月 1日
室蘭東 RC	石田 実	会員 (1回)	6月15日
室蘭東 RC	一戸 豊信	会員 (1回)	6月15日
室蘭東 RC	小野瀬宏勝	会員 (1回)	6月15日
室蘭東 RC	森川 亮	会員 (1回)	6月15日
室蘭東 RC	矢萩富士雄	会員 (1回)	6月15日
室蘭北 RC	内池 真人	会員 (1回)	6月29日
函館亀田 RC	黒川 則男	会員 (1回)	4月10日
函館亀田 RC	安達 智紀	会員 (1回)	4月10日
函館亀田 RC	宮崎 穰	会員 (1回)	6月 1日
函館亀田 RC	秋田 正悦	会員 (1回)	6月 1日

ポール・ハリス・フェロー

岩見沢 RC	安藤 富夫	会員	5月25日
栗山 RC	小島 茂	会員	6月 8日
当別 RC	小野 廣實	会員	6月29日
当別 RC	辻 伸行	会員	6月29日
札幌 RC	指川 司	会員	6月 8日
札幌 RC	山崎 駿	会員	6月 8日
札幌清田 RC	中島 永昭	会員	6月 1日
岩内 RC	野澤 幸平	会員	6月 8日
室蘭東 RC	下国 精一	会員	6月15日
函館 RC	南部 聖一	会員	6月 1日
函館亀田 RC	出戸 秀光	会員	6月 1日
函館亀田 RC	石田 登	会員	6月 1日

米山奨学会寄付

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

滝川 RC	中田 翼	会員 (1回)	6月 5日
江別 RC	郷 和平	会員 (1回)	6月13日
札幌モーニング RC	近藤 良一	会員 (7回)	6月21日
札幌モーニング RC	宮澤 功行	会員 (3回)	6月21日
札幌西 RC	大越 克巳	会員 (1回)	6月22日
札幌西 RC	佐藤 裕一	会員 (1回)	6月22日
札幌手稲 RC	栗津健太郎	会員 (4回)	6月13日
札幌清田 RC	江口 洸	会員 (4回)	5月16日
小樽南 RC	柴田 達朗	会員 (1回)	6月 8日
恵庭 RC	横道 勇	会員 (1回)	6月29日
由仁 RC	後藤 篤人	会員 (1回)	5月25日
由仁 RC	高山 宏道	会員 (1回)	5月25日
室蘭東 RC	佐々木健治	会員 (1回)	6月20日
室蘭北 RC	廣瀬 禎	会員 (2回)	6月29日
函館亀田 RC	田中 仁	会員 (2回)	5月14日
函館五稜郭 RC	青田 基	会員 (1回)	5月11日
函館五稜郭 RC	濱中 公也	会員 (1回)	5月11日
函館五稜郭 RC	金道 雅樹	会員 (1回)	5月11日
函館五稜郭 RC	村田 信吾	会員 (1回)	5月11日
函館五稜郭 RC	棟方 勝	会員 (1回)	5月11日
函館五稜郭 RC	中川 正光	会員 (1回)	5月11日
函館五稜郭 RC	中村 喜憲	会員 (2回)	5月11日
函館五稜郭 RC	上加 淳悦	会員 (1回)	5月11日
函館五稜郭 RC	千葉 光夫	会員 (1回)	5月11日
函館五稜郭 RC	輪島 隆	会員 (1回)	5月11日
函館五稜郭 RC	貞森 晃	会員 (1回)	6月 8日
函館東 RC	安田 信弥	会員 (1回)	5月22日
苫小牧東 RC	川村 義昭	会員 (1回)	6月 1日
苫小牧東 RC	中野 孝一	会員 (1回)	6月 1日
苫小牧北 RC	小野 多七	会員 (2回)	5月30日

功労クラブ

札幌モーニング RC	13回	6月21日
札幌手稲 RC	21回	6月13日
岩内 RC	2回	6月 5日
小樽南 RC	8回	6月 8日
恵庭 RC	5回	6月29日
函館五稜郭 RC	14回	5月11日
函館東 RC	20回	5月22日

5月出席報告

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			06.7.1	07.5.31	増減	内女性	
1	深 川	4	37	38	1	2	85.59
	羽 幌	4	44	50	6	1	91.11
	妹 背 牛	4	10	10	0	0	80.00
	小 平	3	15	15	0	0	84.44
	留 萌	3	49	51	2	0	89.78
	小 計		155	164	9	3	86.18
2	赤 平	4	33	33	0	1	82.50
	芦 別	4	46	44	-2	0	84.09
	砂 川	4	53	52	-1	0	92.30
	滝 川	4	100	100	0	0	77.00
	小 計		232	229	-3	1	83.97
3	美 唄	3	41	40	-1	0	87.26
	江 別	4	37	37	0	1	85.41
	江 別 西	4	33	32	-1	3	92.96
	岩 見 沢	3	90	91	1	0	91.01
	岩 見 沢 東	4	35	36	1	4	86.35
	栗 沢	4	22	21	-1	1	96.19
	栗 山	5	30	33	3	2	97.42
	当 別	4	37	35	-2	1	77.14
小 計		325	325	0	12	89.22	
4	札 幌	4	124	131	7	0	98.91
	札幌あけぼの	3	17	18	1	1	100.00
	札幌はまなす	4	25	26	1	4	83.00
	札 幌 北	3	36	41	5	6	91.05
	札幌モーニング	4	53	52	-1	0	68.23
	札 幌 西	4	73	72	-1	5	94.24
	札 幌 西 北	4	43	47	4	5	93.03
	札幌手稲	3	39	37	-2	1	99.09
	小 計		410	424	14	22	90.94
5	札 幌 東	4	113	112	-1	0	99.03
	札幌清田	4	25	24	-1	5	95.50
	札幌幌南	3	66	68	2	0	100.00
	札幌真駒内	4	42	39	-3	3	95.25
	札幌南	4	88	91	3	0	96.57
	札幌大通公園	3	14	14	0	5	61.90
	札幌セントラル	4	16	19	3	7	78.89
	新 札 幌	4	31	32	1	2	91.38
小 計		395	399	4	22	89.82	
6	岩 内	4	28	28	0	0	88.60
	倶 知 安	4	48	48	0	3	81.29
	小 樽	4	71	71	0	1	89.06
	小 樽 南	3	77	75	-2	0	86.57
	小 樽 銭 函	4	24	24	0	3	87.00
	蘭 越	4	11	11	0	0	82.75
	余 市	4	41	40	-1	5	96.30
	小 計		300	297	-3	12	87.37

5月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,945人
当月末会員数(女性)	2,973人(103人)
増加会員数	28人
当月平均出席率	86.49%

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			06.7.1	07.5.31	増減	内女性	
7	千 歳	4	68	66	-2	3	77.27
	千歳セントラル	4	27	29	2	0	76.80
	恵 庭	4	45	40	-5	0	87.17
	北 広 島	4	20	18	-2	0	88.89
	長 沼	4	18	18	0	3	100.00
	由 仁	4	13	12	-1	0	93.75
	小 計		191	183	-8	6	87.31
8	え り も	4	22	22	0	0	82.95
	三 石	4	17	16	-1	1	96.80
	様 似	4	18	18	0	1	84.72
	静 内	4	76	79	3	1	100.00
	浦 河	5	34	33	-1	2	89.09
小 計		167	168	1	5	90.71	
9	伊 達	4	56	55	-1	0	78.18
	室 蘭	4	45	48	3	0	97.34
	室 蘭 東	3	45	47	2	0	91.40
	室 蘭 北	5	38	37	-1	2	100.00
	登 別	5	32	32	0	2	81.25
	洞 爺 湖	3	8	8	0	0	75.00
	小 計		224	227	3	4	87.20
10	函 館	3	89	91	2	0	79.22
	函館亀田	4	44	44	0	2	82.39
	森	4	39	38	-1	0	70.00
	七 飯	5	16	17	1	0	73.00
	長 万 部	4	6	8	2	0	87.50
	函館セントラル	4	40	33	-7	2	68.08
小 計		234	231	-3	4	76.70	
11	江 差	4	19	18	-1	0	82.40
	函館五稜郭	3	64	62	-2	0	100.00
	函 館 東	4	41	43	2	4	90.58
	函 館 北	4	29	31	2	0	85.00
	北 斗	4	17	20	3	2	76.25
12	松 前	4	7	7	0	0	50.00
	小 計		177	181	4	6	80.71
	白 老	4	19	26	7	0	83.00
	苦 小 牧	2	50	55	5	2	78.05
12	苦小牧東	4	30	29	-1	2	79.31
	苦小牧北	4	36	35	-1	2	89.85
	小 計		135	145	10	6	82.55
合 計		2,945	2,973	28	103	86.49	

6月出席報告

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			06.7.1	07.6.30	増減	内女性	
1	深 川	4	37	36	-1	2	81.43
	羽 幌	4	44	49	5	1	91.11
	妹 背 牛	4	10	9	-1	0	80.00
	小 平	5	15	15	0	0	81.33
	留 萌	4	49	50	1	0	89.70
	小 計		155	159	4	3	84.71
2	赤 平	4	33	33	0	1	85.00
	芦 別	4	46	43	-3	0	84.44
	砂 川	3	53	52	-1	0	97.30
	滝 川	2	100	99	-1	0	79.50
	小 計		232	227	-5	1	86.56
3	美 唄	4	41	40	-1	0	91.92
	江 別	4	37	34	-3	1	85.41
	江 別 西	4	33	30	-3	3	92.18
	岩 見 沢	5	90	91	1	0	89.69
	岩 見 沢 東	4	35	35	0	4	89.35
	栗 沢	4	22	21	-1	1	96.43
	栗 山	4	30	33	3	2	97.53
	当 別	4	37	33	-4	1	78.57
	小 計		325	317	-8	12	90.14
4	札 幌	4	124	123	-1	0	97.98
	札幌あけぼの	5	17	18	1	1	100.00
	札幌はまなす	4	25	26	1	4	69.00
	札 幌 北	3	36	41	5	6	90.28
	札幌モーニング	4	53	51	-2	0	73.44
	札 幌 西	4	73	71	-2	5	91.99
	札幌西北	4	43	43	0	5	92.82
	札幌手稲	5	39	36	-3	1	99.44
	小 計		410	409	-1	22	89.37
5	札 幌 東	3	113	108	-5	0	97.37
	札幌清田	4	25	23	-2	5	97.73
	札幌幌南	5	66	68	2	0	100.00
	札幌真駒内	4	42	35	-7	3	93.11
	札幌南	4	88	87	-1	0	95.56
	札幌大通公園	5	14	14	0	5	64.62
	札幌セントラル	4	16	18	2	7	75.00
	新 札 幌	4	31	31	0	3	86.11
	小 計		395	384	-11	23	88.69
6	岩 内	4	28	28	0	0	76.92
	倶 知 安	4	48	48	0	3	78.90
	小 樽	4	71	66	-5	0	89.80
	小 樽 南	5	77	75	-2	0	85.22
	小樽銭函	4	24	24	0	3	86.00
	蘭 越	4	11	11	0	0	85.75
	余 市	4	41	38	-3	5	88.80
	小 計		300	290	-10	11	84.48

6月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,945人
当月末会員数(女性)	2,898人(102人)
増加会員数	-47人
当月平均出席率	86.60%

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			06.7.1	07.6.30	増減	内女性	
7	千 歳	4	68	64	-4	3	79.92
	千歳セントラル	4	27	29	2	0	82.80
	恵 庭	4	45	40	-5	0	88.15
	北 広 島	3	20	17	-3	0	90.20
	長 沼	4	18	18	0	3	79.10
	由 仁	4	13	12	-1	0	81.25
	小 計		191	180	-11	6	83.57
8	え り も	4	22	22	0	0	92.05
	三 石	4	17	16	-1	1	98.40
	様 似	4	18	18	0	1	84.03
	静 内	5	76	79	3	1	100.00
	浦 河	4	34	33	-1	2	90.15
	小 計		167	168	1	5	92.93
9	伊 達	4	56	53	-3	0	81.13
	室 蘭	4	45	49	4	0	96.88
	室 蘭 東	4	45	44	-1	0	93.00
	室 蘭 北	4	38	35	-3	2	100.00
	登 別	4	32	32	0	2	81.25
	洞 爺 湖	5	8	9	1	0	100.00
	小 計		224	222	-2	4	92.04
10	函 館	4	89	89	0	0	75.92
	函館亀田	4	44	43	-1	2	76.14
	森	4	39	38	-1	0	68.00
	七 飯	4	16	17	1	0	82.00
	長 万 部	3	6	8	2	0	91.66
	函館セントラル	4	40	28	-12	1	76.82
小 計		234	223	-11	3	78.42	
11	江 差	4	19	18	-1	0	78.40
	函館五稜郭	5	64	61	-3	0	100.00
	函 館 東	4	41	43	2	4	86.88
	函 館 北	4	29	29	0	0	84.17
	北 斗	2	17	20	3	2	75.00
	松 前	3	7	5	-2	0	40.00
小 計		177	176	-1	6	77.41	
12	白 老	4	19	26	7	0	88.00
	苦 小 牧	5	50	53	3	2	86.80
	苦小牧東	4	30	29	-1	2	95.69
	苦小牧北	4	36	35	-1	2	91.41
	小 計		135	143	8	6	90.48
合 計		2,945	2,898	-47	102	86.60	



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER
2006-2007 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510